

令和2年7月7日

会 員 各 位

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会
新型コロナウイルス感染対策合同委員会

委員長 菊地 勘

副委員長 山川 智之

副委員長 竜崎 崇和

副委員長 南学 正臣

**新型コロナウイルス感染対策合同委員会と日本臨床工学技士会、
日本災害時透析医療協働支援チームとの共同調査
～透析医療機器および個人防護具に関する現況調査～(結果報告)**

謹啓 盛夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素より新型コロナウイルス感染対策合同委員会(以下「合同委員会」という。)の活動にご理解ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年6月1日(月)～6月15日(月)まで、合同委員会では日本臨床工学技士会、日本災害時透析医療協働支援チーム(JHAT)との共同調査として、「透析医療機器および個人防護具に関する現況調査」を行いました。

調査対象とさせていただいた全国の透析施設におかれましては、お忙しい中を調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで大変貴重な情報を得ることができました。

この共同調査の結果は、各学会のホームページを通じて公開するとともに、この調査結果に基づき行政への働きかけを行い、急性血液浄化を行う基幹病院や全国の維持透析施設の新型コロナウイルス感染対策に役立てたいと考えております。

本調査結果は、以下の URL(<https://stopcovid19.jhat.jp/>)より公開しております。全国の集計結果を各質問についてグラフで示すとともに、各都道府県の集計結果も掲載しております。

この度はアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。今後も合同委員会にお力をお貸しいただければ幸いです。

なお、公開は令和2年12月31日までとさせていただきます。

敬 具

合同調査 調査結果の閲覧方法

(URL: <https://stopcovid19.jhat.jp/>)

都道府県を選択すると
データが絞り込み表示されます。

個人防護具の使用状況結果に切り
替わります。

合同調査 調査結果

本調査は透析医療実施施設に行った調査です。
調査結果は透析医療においての数字ですので医療体制全体を指し示すものではありません。
掲載期間：2020年7月7日～2020年12月31日

各都道府県の患者受け入れ状況および不足人員/機器

※右の「都道府県」を選択するとデータの絞り込みができます。

都道府県
(すべて)

個人防護具の使用状況

